

25 春日新田小学校
認め合い進んで学び合う、学年学級づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	地域を愛し、自立と共生ができ、未来をつくる子ども (郷土愛、自立、共生、社会力の育成)
我が校の目指す子ども像	他者と進んでかかわり、関係性を築きながら学びを深める子



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
3つのプロジェクトによる具体的な取組 ◎主体的な問題解決のある授業づくり ○基礎的・基本的な学習内容の定着 ○家庭学習習慣の育成 ○豊かな心を育む道徳教育の充実 ○よりより人間関係をつくる取組 ○仲間意識の向上を図る取組 ○体力づくりの指導と場の充実 ○健康的な生活習慣の保持増進	◎キャリア教育を中核とした一貫教育の推進 ・小中連続したキャリア教育の実践 ・資質能力の育成状況を振り返る中学校区共通評価項目の設定と課題の確認 ・キャリアパスポートの改善と活用 ○人権感覚を磨く共通取組の実践（中倉茂樹さんの講演、いじめ見逃しゼロスクール集会） ○教科別学力向上部会の実施と押さえるべき学習内容の確認、学習の約束の見直し（10箇条⇒5箇条）
成果○と課題■	成果○と課題■
○「かかわり方スキル」を活用した授業により学び合う姿が見られる。 ○誰とでも仲良く優しくできたことと自己肯定する児童が増えた。QUアンケートによる親和的学級が増えた。 ■メディア接触の時間が増え、生活習慣の乱れから体調不良や不登校傾向となる児童がいる。	○年度初のキャリア教育校内研修の実施により、キャリア教育の重要性を認識し、キャリア・パスポートへの共通理解をもった上で実践できた。 ○小中一貫した様々な上記共通取組の中で、児童生徒共に確実に成長した。 ■各校の独自性を生かしながら学校間連携を進め、各教科等における9年間のカリキュラムを編成し、直東学園における小中一貫した教育課程を編成していく取組を、さらに進める必要がある。

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
直東学園（直江津東中学校区の各小中学校）で推進している小中一貫したキャリア教育や自校の特色を生かした教育活動をベースとして、夢と志をもつことに寄与する教育活動を位置付けた教育課程を編成する。年間を通じて、各学年の視覚的カリキュラム表を修正しながら、よりよい実践を創造する。	生活科	「羊さんとなかよし」（1年）
	総合	「ひかりコスモスプロジェクト！～春日新田の町を元気にしよう～」（4年）
	総合	「知ろう、食べよう、伝えよう！きらめき上越野菜大作戦！」（5年）
学校運営協議会の評価 コロナ禍においても各学年でできる実践を行い、必要な力を身に付けさせることができた。教科ではない学習の中で児童が自分に向いていることや好きなことは何かを考える機会となった。地域での行事が無くなる中で、地域を巻き込んで活動を計画していきたい。	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
	当てはまらない	

スクールのマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	2人	住民	4人	その他	2人	合計	9人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 ()	2学期	1回 ()	3学期	1回 ()	合計3回 ()	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	回 (1)	2学期	回 ()	3学期	回 ()	合計 回 (1)	

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者、学識経験者によるそれぞれに知見から学校の取組を評価していただき、支援やアドバイスをいただいた。 ・学校が抱える諸問題に対し、地域、保護者の立場からできることを考え、教育活動に活かした。 	<p>○学校での取組や学校評価に対して、別な視点や角度から意見を述べていただき、取組に対する自信や反省を得ることができた。</p> <p>■地域での活動が無くなり、地域の方と児童とが、ふれあったり、互いに知ったりすることができなくなっている。</p> <p>■今後は、生活科や総合的な学習の時間において地域とのかかわりを増やせるよう関係会議を設置することを提案していく。</p>

総括
<p>コロナ禍において、学校の教育活動が変更される中、諮問機関として常にアドバイスや協力を得た。登下校の児童の見守り対応や学校の様子に合わせた地域行事の変更などに対応していただき、足並みをそろえた学校運営を行うことができた。地域や保護者とのつながりながら安心して教育活動ができた。</p>

〈活動写真〉



○羊とふれあい、世話を通して、友達と協力することの大切さや相手を思いやる気持ちを育みました。



○地域活性化としてコスモスの種を公園や河川敷に播き、多くの人を笑顔にしました。地域を思う気持ちを育みました。



○あるるんの杜と連携し、上越野菜を使った商品開発を行い、ふるさとを盛り上げ、大切に思う気持ちを育みました。